



長崎の水産業を代表するパネラーのコメントに、参加者は熱心に聞き入っていました

公庫お取引先の漁業者をはじめ、水産加工業者や造船所などの水産業関連業者で組織する「長崎県日本政策金融公庫水産友の会」を長崎市で開催。友の会会員の他、行政や民間金融機関、大学、高校といった県の水産業に関わる団体から140人が参加しました。

今年度は「長崎県産魚の付加価値向上を考える」をテーマに、講演とパネルディスカッションの2部構成で開催。第1部では、長崎県水産部水産加工流通課長の鈴木正昭氏と株式会社さかなプロダクション代表取締役のながさき一生氏が講師として登壇しました。西日本では、65年以上水揚げ量連続1位を維持し、「西の横綱」と呼ばれる長崎県の

水産業の概要、生産・加工・消費の現状と課題、他県での水産資源の付加価値向上に向けた取組事例などについて講演しました。

第2部では、ながさき一生氏をファシリテーターとし、県水産業の川上から川下に至る各分野を代表して、長崎魚市株式会社 多田聖一氏、長崎県漁業協同組合連合会の川尻正史氏、長崎県水産部水産加工流通課の鈴木正昭氏、日本遠洋旋網漁業協同組合の加藤久雄氏、株式会社ひぐちの西村壮平氏、株式会社長崎三ツ星フーズの中村義昭氏がパネラーとして登壇しました。

県産魚の取り扱いの現状や付加価値向上を目指す上での課題などについて議論を重ねた結果、その実現のためには、生産から販売まで一体となった連携強化が必要であると締めくくられました。

参加者からは「長崎県の潜在力を改めて認識できた。漁獲物を生かす取り組みが大事だと認識した」など多数の感想が寄せられました。

(7月14日)

AFCフォーラム 2026.10 秋1号

編集

小柳 典義 清野 健 宮崎 善幸
黒川 知洋 澤田 真理 村上 裕紀
山下 聡子 水谷 徳子

編集協力

金子 弘道

発行

株式会社日本政策金融公庫
農林水産事業本部
〒100-0004
東京都千代田区大手町1-9-4
大手町フィナンシャルシティ ノースタワー
Tel. 03(3270)2268
Fax. 03(3270)2350
E-mail anjoho@jfc.go.jp

印刷

株式会社DI Palette

* 本誌に掲載している記事、写真、図表、データなどをご利用になりたい場合は、事前に当社までご連絡ください。

ご意見募集

今号はいかがでしたでしょうか。感想やご意見をお寄せください。FAX・メールなどで受け付けています。掲載させていただいた方には薄謝を進呈いたします。

FAX: 03-3270-2350

メール: anjoho@jfc.go.jp

お問い合わせ先

宇都宮支店
TEL: 028-636-3901

千葉支店
TEL: 043-238-8501

東京支店
TEL: 03-3270-9791

富山支店
TEL: 076-441-8411

金沢支店
TEL: 076-263-6471

福井支店
TEL: 0776-33-2385

名古屋支店
TEL: 052-582-0741

福岡支店
TEL: 092-451-1780

鹿児島支店
TEL: 099-805-0511

災害のお見舞い

このたびの台風や大雨に伴う災害により被害を受けた皆さま方、心よりお見舞い申し上げます。

日本公庫農林水産事業では、このたびの災害により被害を受けた農林漁業者などの皆さまを対象に、特別相談窓口を設置しています。

ご融資やご返済に関する相談に、政策金融機関として迅速かつきめ細かな対応を行ってまいります。

【次号予告】秋2号(11月発行) フードテック最前線(仮)

人口増加による食料需要の拡大や環境負荷の低減、健康など社会課題解決の切り札として世界的に期待されるのがフードテックだ。食料生産や加工、流通など幅広い分野で活用が始まった新しい技術の現状と普及への課題、今後の展望などを考察する。

国産にこだわり



をつなぎます



国産農林水産物・食品の商談会

第14回

アグリフードEXPO 大阪2027

日時

2027年2月25日(木)・26日(金)
10:00-17:00 10:00-16:00

会場

ATC アジア太平洋トレードセンター

同時
開催



第24回 シーフードショー大阪

公式ホームページ



主催: JFC 日本政策金融公庫